

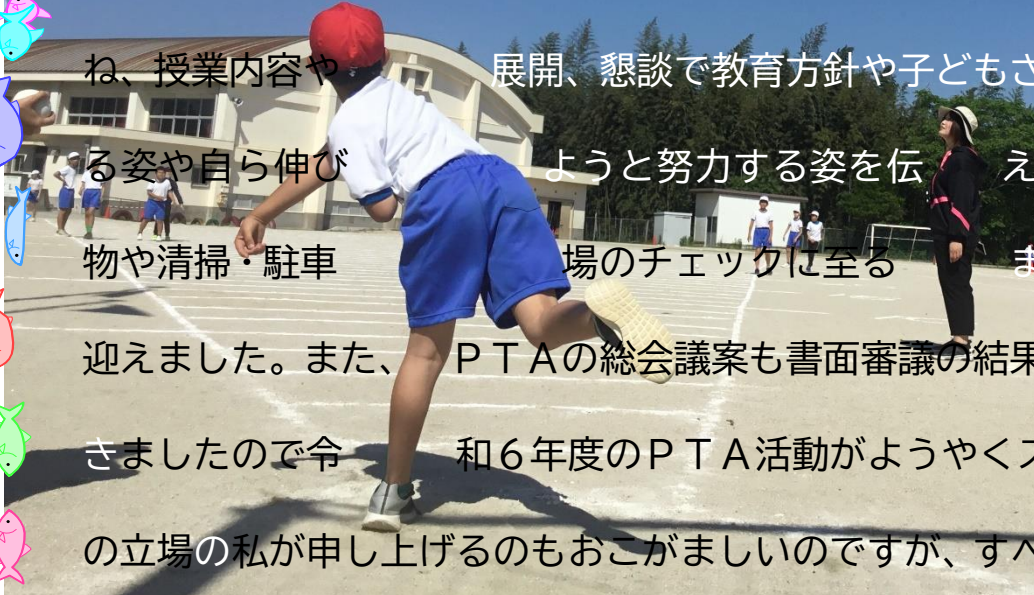


本校だよりは、今回、HP上だけの公開となります。また、お子様向けには先生方が教室に掲示して下さっております(---)

授業参観と懇談会への御参加

ありがとうございました(---)

先日まで、新体力テストの50m 走やソフトボール投げのステージだった運動場が、授業参観や懇談会をお迎えする駐車場に変身しました。先生方は、授業参観において、保護者の皆様に、お子さんができる限り活躍できるように場を設定し、そのお子さんが頑張っている姿を参観していただきたいと各学年で会議を重ね、授業内容や展開、懇談で教育方針や子どもさんの日常の頑張っている姿や自ら伸びようとする姿を伝えたいとポイントや掲示物や清掃・駐車場のチェックに至るまで工夫をされて本日を迎えました。また、PTAの総会議案も書面審議の結果承認を受けることができましたので令和6年度のPTA活動がようやくスタートできます。顧問の立場の私が申し上げるのもおこがましいのですが、すべての保護者の皆様に感謝とお礼を申し上げます。誠にありがとうございました。そして、これからも本校の教育実践にもご理解とご協力をお願いいたします。



(写真は一昨日の6年生のみことな宇宙まで届きそうなソフトボール投げの本日の運動場を駐車場にした時の様子です。安全のご配慮など重ねましてありがとうございました。(---))
 P整理で授業中の写真が取れず残念でございます。(まさに東小)保護者の方の教育への関心の高さですね。)

事務室・保健室・職員室・図書室などの専科の先生方の紹介です



まずは紙媒体で印刷の際は画面が不鮮明で大変3名の先生方に申し訳なく思っております。WEB上では大丈夫なようです。では左から、PTA事務の岩下りつ子先生です。岩下りつ子先生からは、「頑張ります。」というお言葉をいただきました。写真中央には学校事務をつかさどられています村上幸恵先生がいらっしゃいます。村上幸恵先生の大切にされていることとして、「とにかくやってみようとする」ことが大切で、そこで『なんとかなる』という言葉に到達します。」とおっしゃいました。右にいらっしゃるのは養護教諭の高畠美美先生です。高畠美美先生は「健康第一」をあげられました。」ありがとうございました。私は「健康第一で頑張れば、人生何とかなりそう」ですね。ありがとうございます。」と呟きました。先生方、取材させていただき感謝しております。



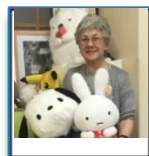
技術吏員の松岡博信先生をご紹介します。松岡博信先生は「授業参観があるでしょうから校門坂やプールの周りや給食室の周りを刈っておきます。」とおっしゃって、暑期中汗びしょりになられてお仕事をされていました。そして、「言葉より行動だよ」と背中まで語って下さったような気がしております。松岡博信先生いつもありがとうございます。



学校栄養教員で、子ども達の食に関する健康・衛生面・献立立案・検討等および管理及び指導にとどまらず学校の子も達や本校職員の皆さん、アレルギー対応が必要な、お子様と各家庭そして、飯塚市教育委員会学校教育課と給食室の6名の調理の先生方との連絡調整にご尽力いただいている小川さち先生です。小川さち先生が心がけていらっしゃる事は、『嫌だと思って行動しない、したくないなと思うことがあっても「~のために頑張る」と~を決めて行動するよう心がけてます。』とおっしゃいました。小川さち先生、心に響く言葉をありがとうございました。



学校司書の先生で、今年度、飯塚市学校図書館協議会の代表（委員長）でいらっしゃる山上美都先生をご紹介します。インタビューの中で、山上美都先生は、司書として大切にされている言葉やポリシーとして「本は、心と頭の栄養になる！」を胸に秘められてお仕事をされています。東小の子も達へのメッセージをお願いしましたところ「子ども達には本を読んで生きる力を身につけてほしいですね。」とおっしゃいました。その心は？とお尋ねしますと「本たちからは、読めば読むほど知識と想像力がミルミル身につくからです。」と笑顔でこたえてくださいました。お言葉をうかがってお礼を終え階段を下りながら、わたしも庄内図書館に生きる力を身につける（いただく）ために来週も「本をかりに行きたいな」と呟きました。山上美都先生ありがとうございました。



日々、飯塚市内のあちこちの小学校に引っ張りだこで、大人気の英語科のご指導に行かれてお忙しいバイリンガルの蘭幸子先生です。本校では、主に高学年の英語専科教員の蘭幸子先生です。オンラインイングリッシュタイムでは、世界の方々と飯塚市内の児童との懸け橋となられており、アメリカ合衆国のサニーバール市と飯塚市のいわばアンバサダー（親善大使）でいらっしゃいます。蘭幸子先生に「英語で派内大切にされているお言葉があったら教えてくださいませんか？」と伺いますと、素敵な笑顔で「一生勉強～毎日感謝」を私に授けてくださいましたのでご紹介いたします。蘭幸子先生ありがとうございました。一生勉強の覚悟でしたのでとってもうれしくなりました。



本校の児童生徒支援加配教員や保健主事であり、1年生の体育専科のご指導をはじめ、全クラスであらゆる教科の指導に入られたり、人権・同和教育の実践にあたって、行政や地域の窓口になっていらっしゃるりとご尽力されている古池一三先生です。古池一三先生は大切にされている言葉はブルースプリングスティーンの涙のサンダーロードの歌詞であるラスト部分の「It's a town full of losers And I'm pulling out of here to win（この街は敗者で埋め尽くされている。そして、俺は勝利を求めてここを出ていく）」を大切にされていると呟いています。ぜひ一度音楽を聴かれてみてください。もう一つ「人生同じ道をたどるな」も先生の名言の1つです。古池一三先生ありがとうございました。



職員室の先生方のお一人で、今年度、教務補助及び専科教員をされている小野香苗先生は、インタビューの中で「寄り添う」事の大切さを語って下さいました。「困っている人や悩んでいる人と一緒に考えてあげられるようにつとめていきたい。」と・・・。そして、子ども達へのメッセージでも「勉強がわからないお友達がいたら寄り添って一緒に取り組んでほしいし、「間違ったらだめ」ではなく誠実に寄り添う、その先にともに解決できた新たな楽しさや喜びや感謝が生まれると信じてご尽力されていると呟いています。小野香苗先生ありがとうございました。

教務主任の白土垂矢子先生は、大切にされている言葉は、教師となって子ども時代より鮮明に大切さに気付いた言葉として「ありがとう」ですね。教員になりたての頃から今に至るまでも先輩にも後輩にも支えられていますし、自分のために時間を使っているいろいろな方々からその言葉の大切さを痛感すると同時に、その言葉にいつも助けられています。」とおっしゃいました。私が出会った心理学の先生や起業家がおっしゃっていたのは運が開ける方（幸運に恵まれる方）や人脈に恵まれる方というのは「自分のために時間をつかってくれるのは『命を削ってくれている』と思える人のことである。」と言われていたことを思い出しました。白土垂矢子先生ありがとうございました。



教頭先生は「黒屋久美子教頭先生」です。お気に入りの言葉は「棚から牡丹餅」や「果報は寝て待て」などらしいのですが、黒屋久美子教頭先生ご自身自身が大切にされている言葉というより決意のような強い気持ちをもっていらっしゃる事と呟きますのでインタビューしますと、黒屋久美子教頭先生は「人生、常に『なんとかなる』と思って行動してます。」とバシッとおっしゃいました。「深いなあ。」と思いました。黒屋久美子教頭先生どうもありがとうございました。

※ 後日になりますが、17日のPTA総会書面審議承認の結果を経て、新しいPTA役員の皆様のご紹介をさせていただきます。

運動場（260）や敷地内（73）に自家用車約333台が集結しました。学校史上初ではないでしょうか。感謝でございます。